

氏名	矢 田 義 比 古		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 1573 号		
学位授与の日付	昭和60年6月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	Augmentation of anti-tumor activity by immunization with Mycobacterium tuberculosis (Tbc) and Tuberculin-coupled tumor cells 熱処理結核菌感作マウスに対する PPD 結合腫瘍細胞による腫瘍特異免疫の誘導		
論文審査委員	教授 寺本 滋	教授 木村郁郎	教授 小田琢三

学位論文内容の要旨

熱処理結核菌にて感作したマウスをツベルクリン結合腫瘍細胞にて免疫したところ、特異的な腫瘍増殖抑制作用を誘導することができた。BALB/c, C 3 H/He, C57BL/6 各マウスについて、これらのマウス由来の腫瘍である Meth-A, MH134, Lewis Lung Carcinoma (LLC) を移植する系を用いて、上記の免疫療法の効果を検討した。BALB/c マウスに Meth-A 肉腫を移植する系では、つよい腫瘍増殖抑制作用を認め 20%のマウスは、Meth-A 肉腫を完全に拒絶した。C57BL/6 マウスと LLC の系でも増殖抑制を認めたが、拒絶したものはなかった。一方、肺転移の抑制作用も認めた。C 3 H/He と MH134 の系では、Cyclophosphamide を併用することにより増殖抑制を認めた。BALB/c と Meth-A の系で、ラット IL 2 投与を併用することにより腫瘍増殖抑制を認めた。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査の結果の要旨

本研究は腫瘍の免疫療法に関する実験的研究であるが、熱処理結核菌にて感作したマウスを用いてツベルクリン結合腫瘍細胞にて免疫して特異的な腫瘍増殖抑制作用を誘導し得ることを立証したものであり価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。